

とちぎ米産地だより 【6月号】

<25年産のとちぎ米に関する情報をいち早くお届けします！>

第15号 平成25年6月7日(金)
発行責任者:JA全農とちぎ 米穀課

1. とちぎ米生長日記 栃木県では100%植付けが終了しました。(早植)



写真:JAなすの管内 大田原市 圃場にて
(5月29日(水)撮影)

進捗状況は平年並みです！(5月28日現在)

普通植の進捗率は**17%**であり、**全体としては87%**が
終了しました。

(栃木県は早植が84%、普通植・晩植が16%を占めています。)

丁寧に育てた苗を、田植機で移植しています。
倒伏しないような稲作りをし、品質の低下を抑えます。

2. 全農イベント情報

●栃木の田んぼで親子泥んこ田植え体験ツアー 5/11(土)

東京・神奈川5地区のリビングマロニエ新聞に募集広告を掲載し、応募頂いた方の中から抽選で親子**14組37名様**を田植えツアーに招待致しました！

当日は、上三川町の農事組合法人石田ファームの生産者とJAうつのみやの職員の方々の協力のもと開催しました。今回のツアーは生産者と消費者の交流を深めつつ、日頃栃木米を食べていない方にも“産地とちぎ”に興味をもって頂き、購入意識を高めることで、新たな栃木米のファンを開拓することを目的としています。



田んぼに靴下で入ったお子さん達は、泥の感触に驚きながらも、初めての田植え体験を楽しんでいました。あいにくの雨の中、1時間の田植え体験でしたが、『もっとやりたかった！』といった嬉しいお言葉も頂くことができました！！大きな田植え機による実演には、大人も子供も目を輝かせていました。

●プレミアムとちぎ米くらぶ会員限定田植えツアー 5/18(土)

今回、プレミアムとちぎ米くらぶの発足を記念したイベントとして『家族で体験！田植えツアー』を開催し、県内・県外合わせて**12組40名様**の会員の方に参加頂きました。

場所はJAしおのやの喜連川の田んぼをお借りしました。会員と生産者・JAを交えた産地交流会は初めての試みで、今秋には同じ田んぼにて稲刈りツアーも開催する予定です。田植え体験を通じて産地との交流と栃木の自然を体感してもらい、栃木米のファンの固定化を図ることを目的としています。



当日は慣れない田んぼに足をとられ泥だらけになりつつも、さわやかな五月晴れの下、田植えを存分に満喫頂きました。入る前は手植えには広いと思われた田んぼでしたが、初めての方も昔経験したことがある方も気づけば夢中になって あっという間に全ての面積の田植えが終了しました！

3. とちぎ米産地紹介

麦秋と田園風景 ～JAしもつけ～



JASしもつけ
太平山下に広がる風景



栃木県では、昔から麦の生産も盛んに行われており、中でも二条大麦は全国屈指の生産量を誇っております。

県南に位置するJAしもつけは、ビール大麦の受渡数量全国**第1位**を誇っており5月下旬から6月上旬頃には綺麗に彩る麦秋を観ることができます。

麦秋とは・・・麦が黄金色に色づき、収穫の時期を迎える初夏頃の季節のこと。

麦は乾燥したところで育つ作物です。

栃木県は、冬にあまり雪が降らず、晴れの日が多いので、乾燥した日が続きます。日照時間が長いと麦がよく育ち、また、栃木県の水田は、水を抜くとよく乾くため、ジメジメした土を嫌う麦には、ちょうど良い土です。そのため、栃木県では、水田を利用した二毛作が盛んに行われております。

黄金色に輝く**麦畑**と青々と緑に色づく**田んぼ**のコントラストは、**栃木県独特の風景**です。

4. とちコシ.com情報

全農とちぎ米麦部にて**Twitter**はじめました！！



【とちぎのおこめ】
のツイッターアカウントが
できました！
[@tochiginookome](https://twitter.com/tochiginookome)

栃木米情報を日々更新して
いきますので、
よろしければフォローにて
ご覧ください！！



プレミアムとちぎ米会員様限定！
『家族で体験！田植え&稲刈りツアー』参加者を募集しています。
第1回の田植え体験は5/18（土）に栃木県さくら市JAしおのや管内で実施いたします。奮ってご応募ください。問合せ：
0120-499-511（とちぎ米事務局）
2013/04/16 10:59

1ツイート

県内の
イベント情報や！

今年は寒いので、藻類（アオミドロ）が繁殖している水田が見られます。稲が小さいうちに増えると稲が痛みます。2～3日、田を干すと減ります。 pic.twitter.com/YvskyD2N3s
2013/05/27 17:59



那珂川町では、外国人が週末にホームステイして、田植を行うイベントがありました。最近では、手植えで田植をするのは外国人ぐらいですが、みなさん楽しんでいました。（YAMA）
pic.twitter.com/FGJxg4HoIY
2013/05/23 9:22



稲の生育状況などを提供致していきます。

※ 問合せ先 ※

◆内容に関する、ご意見、ご質問、ご感想も、是非、お寄せください。

JA全農とちぎ 米穀課 電話：028-626-2174 FAX：028-621-2037